

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成27年11月19日 (2015.11.19)

【公表番号】特表2013-518923(P2013-518923A)

【公表日】平成25年5月23日 (2013.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2013-026

【出願番号】特願2012-552469(P2012-552469)

【国際特許分類】

C 07 K 5/12 (2006.01)

A 61 K 38/00 (2006.01)

A 61 P 31/18 (2006.01)

A 61 P 31/14 (2006.01)

A 61 P 31/20 (2006.01)

A 61 P 31/12 (2006.01)

A 61 P 21/04 (2006.01)

A 61 P 25/00 (2006.01)

A 61 P 3/10 (2006.01)

A 61 P 21/00 (2006.01)

A 61 P 25/28 (2006.01)

A 61 P 25/14 (2006.01)

A 61 P 9/10 (2006.01)

A 61 P 25/32 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

C 07 K 5/065 (2006.01)

C 07 K 1/02 (2006.01)

C 07 K 14/36 (2006.01)

C 12 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 07 K 5/12

A 61 K 37/02

A 61 P 31/18

A 61 P 31/14

A 61 P 31/20

A 61 P 31/12

A 61 P 21/04

A 61 P 25/00

A 61 P 3/10

A 61 P 21/00

A 61 P 25/28

A 61 P 25/14

A 61 P 9/10

A 61 P 25/32

A 61 P 43/00 1 0 5

C 07 K 5/065 Z N A

C 07 K 1/02

C 07 K 14/36

C 12 N 15/00 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年9月24日(2015.9.24)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0020

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0020】

(HIVの治療)

世界中で3000万人を超える人々がHIV-1に感染しており、毎年300万の新しい症例がある。治療選択は、高活性抗レトロウイルス療法(HAART)の導入と共に劇的に向上した(Schopmanら、2010)。2008年までに、およそ25種の抗レトロウイルス薬がHIV-1の治療用に認可され、9種のヌクレオシド逆転写酵素阻害剤(NRTI)、4種の非-ヌクレオシド逆転写酵素阻害剤(NNRTI)、9種のプロテアーゼ阻害剤(PI)、1種の融合阻害剤、1種のCCR5阻害剤、及び1種のインテグラーゼ阻害剤(Shafer及びSchapiro、2008)が含まれる。しかし、これらの現行のレジメンはいずれも完全なウイルス排除をもたらさず、それらは重症の副作用をもたらすことがあり、抗ウイルス耐性も未だ大きな懸念である。したがって、特に、シクロフィリン阻害剤の場合のように、認可された薬物がない作用機序クラスにおいて、新しい抗ウイルス療法の必要がいまだ存在する。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0238

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0238】

(24.5 ファルコン管中のサングリフェリン及びサングリフェリンアナログの産生の株のスクリーニング)

良好に孢子形成したパッチのそれぞれの単一の約7mm寒天プラグを使用して、7 mLの滅菌SM25-3培地に接種し、2インチ工程のシェーカーで27℃、200 rpmでインキュベートする。48時間の成長後、各培養物0.7 mLを、5 % HP20樹脂と共に、7 mLのSGP6培地(30 g/L Nutrisoy(きな粉)、60 g/L グリセロール、21 g/L MOPS; pH 6.8)を含む滅菌ファルコン管に移す。培養物を、1インチ工程の振盪インキュベーターで、24℃、300 rpmで5日間成長させてから、採取する。各細菌培養物の0.8 mLを除き、小分けの前に培養物中の樹脂の適切な分散を確実にしながら、2 mLエッペンドルフ管に小分けする。0.8 mLのアセトニトリル及び15 µLのギ酸を加え、管を30分間混合する。混合物を遠心分離により清澄化し、150 µLの抽出物を除いてHPLCバイアルに入れ、HPLCにより分析する。